



令和5年7月20日

第2回運営委員会 報告

盛夏の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
7月8日(土)に第2回運営委員会を開催しましたので、下記のとおり報告いたします。

日時:令和5年7月8日(土)10:00~

場所:ランチルーム

(委員総数35名、出席委員数26名)

※全委員2/3以上の出席がありましたので、第2回運営委員会は成立いたしました。

【1】あいさつ

◆令和5年度 運営連絡委員代表

本日はお忙しいところ第2回運営委員会にお集まりいただき、ありがとうございます。

5月に定期総会の書面決議が無事に行われ、書面で報告の通り、すべての議案が可決されました。ご協力ありがとうございました。規約の追加についても可決されたため、現在改定作業を進めています。ホームページに掲載できるように見直しをしていますので、でき次第ご報告いたします。総会については、来年度以降の開催方法について、方向性を決めていきたいと考えています。

学校公開や保護者会など、保護者が学校に来校する機会も増え、活気が戻ってきているなど感じています。保護者同士が顔をあわせる機会が増えていますので、学級活動での交流も取りやすいと思います。2学期以降の活動の参考になるよう、過去の活動内容についても説明いたします。

議題が多くありますが、グループ活動の時間がしっかり取れるよう進めてまいります。よろしくお願いいたします。

◆校長先生

今年度2回目の運営委員会ということで、よろしくお願いいたします。

初めに本日の会場についてのお詫びです。音楽室のエアコンが壊れ、暑い中で子どもたちに授業をさせることが危険なため、急きょ集会室に楽器を運んで音楽室代わりに使っているため、中で会議ができません。さらに、修理の工事が今度の三連休ということですので。急な変更、申し訳ありません。

さて、1学期も残すところ2週間ほどになりました。昨日は学校公開日でしたが、平日にもかかわらず早朝より多くの皆様のご参観をいただきました。6月10日(土)に行った学校公開から、参観時の規制を撤廃しました。このことで、より自由に子どもたちの姿を追うことができるようになりました。また7月10日(月)と11日(火)には、これまで見合わせていた給食試食会も行います。50名以上の申し込みをいただき、2回に分けて開催しないと、参加のニーズに応えられないという状況です。学校の教育活動への、保護者・地域の皆様の関心の高さが伝わってくる出来事と受け止めています。さらに来週は、5年生が初めて宿泊行事を行います。今後もコロナ前に戻すという発想ではなく、新たな教育活動を創造していくという方向性を大切にしながら、全教育活動の活性化・改革化を図ってまいります。今後とも、ご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

◆青少対会長

保護者の皆様には、いつも青少対活動にご協力をありがとうございます。今年度の活動もはじまり、放課後子ども教室、十三小子どもクラブとの共催で3つほど教室を開催するのと、去年に続きまして青少対まつりを10月の最終の土曜日に開催しようと思っているところです。保護者の皆様にはまた協力をお願いしますが、子ども達のためにご協力いただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

◆学校支援コーディネーター世話人

皆様には芝生関係、花壇の方の作成などお世話になっております。子ども達も芝生作業をしている時などに声をかけてくれたり、作業に必要なコーンを片付けてくれたりします。お母様方達もお忙しいとは思いますが芝生活動に是非ご参加いただければと思っております。

先日コーディネーターの方で開催した子育てについての講座を講師をお招きして行いました。保護者の方数名も参加していただきまして、皆さんで和気あいあいと楽しく講座的な形で開催させていただきました。先月の花壇の作業も保護者の方に協力していただき、綺麗なお花を植えることができました。今後ともよろしくお願いいたします。

【2】定期総会(書面決議)について報告(添付資料①)

総会で提出されたご意見について、代表より報告がありました。

<活動案について>

立ち番・みまもり隊グループの負担と、参加する保護者ボランティアの負担が大きいため、活動内容の見直しを検討してはどうかというご意見です。繰越金があるからと警備員を配置した場合、その後も継続できる資金があるか課題が出てきます。また、立ち番に関しては「できるタイミング」での協力をお願いしていますので、負担のない範囲でご参加いただいていると思います。

グループ活動の負担は、紙ベースで当番表を作成しているため大変な部分があることは理解していますが、通年の活動ではなく担当を3期に分けていること、運営連絡委員もLINEグループに加わり、不明点等すぐに聞ける体制を取っています。グループ活動全般に言えることですが、特定の人に作業が偏らないようにすることで、負担軽減に繋がると考えています。保教の会の活動は今後も継続していくものです。活動していく上で問題と感じたことがあれば遠慮なく伝えていただき、改善できることを一緒に考えていきたいと思っております。

<予算案について>

予算案に関しては、パソコン関連の項目に対してご意見がいくつかありました。パソコンに係る支出の項目として、「パソコン維持費」、「パソコン積立費」の2つがあります。積立の目標額を決めておく、という案はご意見をいただいて、なるほどと感じました。ただ、目標額に達した場合に学級活動費の増額をするのは、年によって活動費の変動が起こるため避けたいと考えます。過去のパソコン関連の支出を確認し、今後も同様の予算組みでよいか、次年度への課題として検討していきたいと思っております。

【3】選管より報告

- 5月13日 引き継ぎ、次年度運営連絡委員募集のお知らせ作成
5月29日 運営連絡委員募集のお知らせ 印刷・配布（締め切り 6月8日）
6月10日 集計 立候補者がいなかったため、再募集のお知らせを作成（締め切り 7月6日）
6月15日 印刷・配布
6月28日 スクールメールにて立候補募集の案内を重ねてお知らせ
（「経験者の方のやって良かった！」声も掲載）
7月7日 集計 定数に満たず。今一度、今年度の運営連絡委員の力も借りながら声かけを進める予定。
それでも立候補が出ない場合、くじ引きにて選出。くじ引きの日程は現在調整中。

（代表より）

経験者の方、以前の代表の方からもいろいろと意見をいただきました。13小は運営委員会を年4回とかなり減らして行っていますし、今後ペーパーレス化を進める話になっていますので、印刷そのものが減って、メールでのやり取りなどになるなど、今、いろいろとやり方が変わっている時期です。今年度のメンバーで、そこをしっかりとやろう、組み立てていこうと決めて活動しています。なんの心配もなく、来年度の役員を引き受けていただけるように、学校側とも連携し取り組んでいきますので、お知り合いの方で立候補するか悩んでいる方がいたら、お声かけいただければと思います。

【4】グループ活動の報告

立ち番・みまもり隊グループ

- 5月22日 第1期(9～11月) 立ち番・みまもり隊 募集用紙 起案
5月28日 印刷
6月9日 募集用紙配布(児童数)、副代表作成「立ち番・みまもり隊の活動について」も同時に配布(家庭数)
6月25日 当番表の作成開始
6月29日 当番表、みまもり隊アンケート 起案
7月8日 当番表、みまもり隊アンケート 印刷
7月10日(予定) 当番表(児童数)、みまもり隊アンケート・みまもり隊腕章(対象者) 配布

特に大きな問題もなく活動できています。しかし、活動して大変だったことがあります。集計した結果で実際のリストを作るのにかなりの時間が掛かりました。難しいことかもしれませんが、電子的にできれば非常に効率的にできると思います。また、お子さんの名前も変換してもすぐに出てこないことも多く、時間が掛かりました。誰がどこを希望しているかがすべてのエクセルファイルみたいなものでできると、非常に効率的にできるのではないかと思います。

一斉下校・自転車整理グループ

- 5月24日 一斉下校のみまもり(グループから6名、運営連絡委員から2名参加)

地域の民生委員さんにもみまもりに参加していただきました。当日は1時25分に体育館に集合して、児童と共に先生方のお話を聞き、その後、コース毎の下校開始となりました。担当箇所にてみまもりを開始して、コースの最後まで同行しました。一斉下校のみまもりの後にグループ内で意見交換を行いました。

パトロール中プレート・学区内危険箇所・青少対まつりグループ

5月22日 十三小学区内危険箇所マップ、自転車へのパトロール中プレート装着についてのご願い、パトロール中プレートの作成・起案

学校公開日に危険箇所マップへ書き込みのご願いのスクールメール文の作成・起案

5月30日 起案の修正、配布(家庭数)、危険箇所マップの印刷・配布(学級数)

6月14日 危険箇所マップの集計と書類の修正、パトロール中プレートの追加作成

6月16日 集計後作成した危険箇所マップの起案

6月23日 パトロール中プレートの集計・申請者への配布、危険箇所マップ印刷・配布(家庭数)

危険箇所マップへの書き込みについては、学校公開日であったら昇降口受付、保護者会であったら教室前など、どちらも名簿を記入するタイミングに合わせて設定するといいいのではないかという反省点もあります。

今後の活動としては、7月20日に市役所、警察、十三小担当の先生とメンバーで1時間程度を使って、保護者の方に記入いただいた危険箇所を編集したものを見ながら、現地で確認する予定です。

【5】学級・学年活動の報告

各学年からの活動報告はなし。

<令和5年度・学級・学年活動について(添付資料②)>

ここ数年は集まっての活動ができておらず、進級お祝い品の贈呈がメインとなっていました。過去5年程度の資料から、学年ごとにどのような活動を行ったかまとめました。活動時期や活動内容の参考にしてください。

また、恒例行事として、ほぼ決まっている学年がありますのでお伝えします。

- ・1年生:(1学期)保護者会後に懇談会(今年度は、担任の先生から交流の時間を取っていただいた)
- ・3年生:(3学期)七輪体験
- ・4年生:(3学期)10歳を祝う会
- ・6年生:(3学期)卒業に向けた活動として、親子レクリエーション

【6】学級活動費精算表の提出について

学級委員のしおり(11ページ)に沿って、学級活動費・グループ活動費について会計より説明を行いました。

<学級活動費について>

各学級4000円になります。学級活動費は学年合同で使用することも可能です。不足の際は1000円まで追加できますが(計5000円まで)、4000円を超える部分については、学級委員の方に立て替えていただき、第4回運営委員会の際に精算となりますので、事前にご連絡ください。学級活動費は、担任の先生やボランティアへのお礼としては使用できません。保護者会後の懇談会でのお茶菓子代や学年末の進級祝いや記念品として全員に配る品物代として使うことができます。学級・学年活動を考えるにあたっては、必ず事前に担任の先生と相談してから計画を進めるようにお願いします。

<グループ活動費について>

あらかじめお配りはいたしません。各グループ活動で支出が生じる場合は、事前に会計までご相談ください。

いずれの活動費も精算表に必要な事項を記入し、領収書(またはレシート)を裏面に貼ってください。どうしても領収証がでないものは出金伝票に記入していただきますので会計までお問合せください。また、領収証の宛名は「小平十三小保教の会」としてください。くれぐれもPTAの名称は使わないようにお願いします。

【7】その他

<保教の会 配布資料のペーパーレス化に向けて(添付資料③)>

代表より添付資料に沿って説明があり、今年度中にホームページ掲載の流れの確立を行うこと、アプリやシステムなどの活用について他校の取り組みを委員会内で共有することが話されました。

<保教の会から学校への備品寄贈の経過報告>

定期総会で、「保教の会から学校に備品を寄贈等する又は30万円を超える予算の執行を行う場合は、会員に周知の上会員の3分の2以上の承認を得ること」とした規約の追加が承認されました。昨年度より学校と内容について検討しており、シンセサイザーを2台寄贈する方向で進めています。11月に音楽会が開催されること、シンセサイザーの入れ替えを検討していた時期であることから、この品目が選択されています。

令和5年度の予備費から支出予定です。Google フォームでアンケートを作成し、会員の皆様の承認をいただきたいと考えています。1学期中にはスクールメールを使用して配信予定です。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

【8】グループに分かれての打ち合わせ

各グループ別の打合せ

⇒終わり次第、解散となりました。

第3回運営委員会

日時：令和5年11月11日(土) 10:00～

場所：集会室

※全委員2/3以上の出席がないと、運営委員会は
成立しません。学級委員の方は必ずご出席ください。



委員各位

十三小保教の会

第 28 回 定期総会（書面決議）に寄せられたご意見について

5 月に行われた定期総会（書面決議）では、複数の方から活動案・予算案についてご意見をいただきました。第 2 回運営委員会で共有し、今後の活動に反映していきたいと考えます。（提出された原文のまま記載）

| |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 活動案について |
| 立ち番・みまもり隊グループの負担が大きいこと、また、保護者の負担が大きいことを踏まえて、活動を見直して欲しい。繰越金が多いのであれば、警備員を雇ってはどうか。万が一の事故の際、法的な責任は保護者にはないとしても、道義的責任は生じます。運営側と参加側の無理は必ずどこかでたたり、機能しなくなる時がくると思います。 |
| 予算案について |
| 今時パソコン一台、数万円から購入可能で、そこまでハイスペックなパソコンが必要でもないと考えられるのに、35 万円の積立金は多すぎると感じます。今期の積み立ては不要では。 |
| パソコン積立金について。積立金がノートパソコン 1 台を買い替えるには多く感じます。目標額をある程度明確にし、その額に達した時点で積み立てを終了することを検討されてはいかがでしょうか。 |
| パソコンと印刷機の保守代が必要ない場合は学級活動費に上乘せするか、高額な修理が必要なときは積立金から出すなどして、活動費を増額してはどうかと思った。 |
| 令和 4 年度と同じ額の予算を取っているのはなぜでしょうか。決算額をみて予算をもっと減らすべきだと思います。 |
| 教員から会費を取るのは再検討すべき。 |
| 消耗品と備品費の違いがあいまいなので、一緒にしてはどうかと思った。 |
| その他 |
| ホチキス留めが大変と報告にもあるのに、今回もホチキス留めがあり、電子化すればいいと思う。 |

以上

委員各位

十三小保教の会

令和 5 年度 学級・学年活動について

第 1 回運営委員会では学級・学年活動について、「令和 5 年度 学級委員のしおり」2 ページ、<学級委員の仕事>、③学級活動の企画・開催、を読み上げて活動方法についてお伝えしました。その内容が、新型コロナウイルス感染症が感染症法上 5 類に指定されたことに即していなかったため、校長先生と相談の上、以下の様に変更することにいたします。

(配布資料) 保護者会後の茶話会、各学級の行事 等
 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度の活動はクラス単位のみとなります。また、保護者を招いての活動はできません。予めご了承ください。



(変更後) 保護者会後の懇談会、各学級の行事 等
 ※今年度の活動は、学年単位まで可とします。保護者の参加も可能となります。

参考資料として平成 29 年度～令和 4 年度までの学級・学年活動を以下にまとめます。

令和 3 年度まで、現在の懇談会は「茶話会」という名称でした。今回の資料では、「懇談会」と名称を統一して記載しています。また、①②③は、各学期を示しています。活動時期の参考にご覧ください。

(進級祝い品、学年記念品、袋詰めといった文言は省略しています。どの学年もラッピングして渡しています)

【1 年生】(恒例行事) | 学期の保護者会後に懇談会

| | | |
|----------|---|-----------------------------------------------------------------------------|
| 平成 29 年度 | ① | 5 人ずつ 3 組のグループに分かれ、子どもたちの日頃の様子や親として迷うことなどを話し、保護者の交流を深めることができた。 |
| | ③ | 鉛筆と消しゴムをプレゼントした。 |
| 平成 30 年度 | ① | 2 クラス合同で懇談会を実施した。保護者同士のコミュニケーションを深められた。 |
| | ③ | 読み聞かせボランティアの方を招いて、ブラックライトを使用したパネルシアターの上演を行った。保護者の参加は数名であった。 鉛筆をプレゼントした。 |
| 令和元年度 | ① | 2 クラス合同で懇談会を実施した。自己紹介で近所のお友だちもわかり、交流がはかれた。担任の先生にも参加していただき、宿題などの質問に答えていただいた。 |
| | ③ | 折り紙とポケットティッシュをプレゼントした。 |
| 令和 2 年度 | ② | 年末年始や家の時間を楽しむために、トランプをプレゼントした。(12 月) |
| 令和 3 年度 | ③ | 2 年生で使用する 15cm 定規、ポケットティッシュをプレゼントした。 |
| 令和 4 年度 | ③ | 赤鉛筆、鉛筆、消しゴムをプレゼントした。 |

【2年生】

| | | |
|----------|---|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| 平成 29 年度 | ② | 国語「動物園のじゅうい」にちなんだ学習を実施。獣医である学級委員から、動物園の獣医の仕事についてスライドや道具を利用して話してもらった。 |
| | ③ | 子どもたちへフォトフレームをプレゼントした。 |
| 平成 30 年度 | ③ | 2 クラス合同で懇談会を実施。5～6 人ずつ 5 グループに分かれて子どもの話をして交流を図った。 消しゴム、赤青鉛筆、のりをプレゼントした。 |
| 令和元年度 | ③ | 体育館でレクリエーションを実施した。運動が苦手な子どもでも楽しめるように、事前に担任の先生と打ち合わせを行い、当日は競争やゲームなどを行った。 ノートをプレゼントした。 |
| 令和 2 年度 | ③ | 赤鉛筆、消しゴムをプレゼントした。 |
| 令和 3 年度 | ③ | 赤青鉛筆、鉛筆、消しゴムをプレゼントした。 |
| 令和 4 年度 | ③ | 赤青鉛筆、2B 鉛筆、消しゴムをプレゼントした。 |

【3年生】（恒例行事）七輪体験（おもちゃマシュマロなどを七輪で焼く）

| | | |
|----------|---|----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 平成 29 年度 | ① | 6 月の保護者会後に懇談会を実施。クラス替えに伴い、顔を合わせて交流できるように企画。担任の先生にも参加していただき、子どもの様子などで話が弾んだ。 |
| | ③ | 七輪体験（土曜日）。保護者の参加も多く、子どもたちも積極的に参加できた。 |
| 平成 30 年度 | ③ | 七輪体験（土曜日）。ボランティアの参加が多く、楽しく過ごすことができた。 スティックのりをプレゼントした。 |
| 令和元年度 | ③ | 七輪体験（土曜日）。ボランティアの参加が多く、当日は雪が降りとても寒かったが火起こしや七輪で焼くという貴重な体験ができ、楽しく過ごすことができた。 |
| 令和 2 年度 | ③ | 赤青鉛筆、消しゴムをプレゼントした。 |
| 令和 3 年度 | ③ | ハンカチと消しゴムをプレゼントした。 |
| 令和 4 年度 | ① | 学級活動について情報収集を実施。懇談会の開催を検討した。 |
| | ② | 保護者会後に懇談会を実施。トークテーマを設定し、ゲームやスマホのこと、病院情報、子どものお出かけの情報などを話した。（1 組 11 名、2 組 9 名、3 組 8 名） |
| | ③ | 七輪体験（5-6 時間目）。平日開催となったが、ボランティアの保護者 17 人参加。買い出し、搬入などの打ち合わせは電話で行い、無事に開催することができた。 スティックのりをプレゼントした。 |

【4年生】（恒例行事）10 歳を祝う会（旧名称：1/2 成人式、成人年齢の引き下げに伴い変更）

| | | |
|----------|---|------------------------------------------------------------------------------------------|
| 平成 29 年度 | ③ | 和紙の台紙、ひも等の購入。子どもに向けての手紙を作成し、発表した。 |
| 平成 30 年度 | ③ | 1/2 成人式。賞状という形で親から子どもへ向けて言葉を贈るため、保護者に賞状作成の協力をしてもらった。（賞状用紙、手紙を入れる封筒を購入した） ノートをプレゼントした。 |
| 令和元年度 | ③ | 1/2 成人式に向けて準備していたが、休校となり実施はできなかった。 ノートをプレゼントした。（これからも使えそうなものを、と担任とも相談） |
| 令和 2 年度 | ③ | 1/2 成人式。ファイル、赤青鉛筆をプレゼントした。 |
| 令和 3 年度 | ③ | 三角定規をプレゼントした。（購入するにあたり、担任とも相談） |
| 令和 4 年度 | ③ | 赤青鉛筆をプレゼントした。 |

【5年生】

| | | |
|----------|---|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 平成 29 年度 | ③ | 6 年生で俳句を学習するための筆ペンをプレゼントした。 |
| 平成 30 年度 | ③ | 読み聞かせボランティアグループの方を招いて、ブラックパネルシアター「小惑星探査機はやぶさ」の公演を行った。公演後は子どもたちからたくさんの質問があり、充実した時間となった。後日、子どもたちからボランティアグループの方に感想文の文集が送られ、大変喜んでくださった。 |
| 令和元年度 | ② | JAL 紙ヒコーキ教室を JAL から講師 4 名（パイロットや整備士）を招いて実施した。仕事内容の話をしていただいた後、講師持参の「イカ飛行機」を作成し、飛行距離を競う協議会を行った。（人気講座のため、予約の活動は 4 月から始めると良い） |
| 令和 2 年度 | ② | 鉛筆 3 本、消しゴム 1 個をプレゼントした。（9 月準備、3 学期に配布） |
| 令和 3 年度 | ③ | トランプとスーパーボールをプレゼントした。 学級図書の選定に向けて子どもたちにアンケートを取り、集計した。 |
| 令和 4 年度 | ③ | ノート、鉛筆、マスクケースをプレゼントした。 |

【6年生】（恒例行事）親子レクリエーション

| | | |
|----------|---|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 平成 29 年度 | ③ | 親子レクとしてミニ障害物競走とタイムカプセルのセレモニーを実施した。 |
| 平成 30 年度 | ③ | 「卒業式楽しみだなぁの会」の 1 コーナーとして、親子綱引きを実施した。クラス対抗で、男子・女子・保護者で対戦し、とても盛り上がり楽しい時間となった。 |
| 令和元年度 | ③ | 6 年間の学校行事の集合写真をおさめた DVD をプレゼントした。 親子レクリエーションを計画していたが、休校のため中止となった。卒業式後に祝う会を予定していたが、感染拡大防止のため、中止となった。 |
| 令和 2 年度 | ③ | タイムカプセルを提案し、封筒に手紙と記念品を封入。有志の保護者が保管とした。 1 組：5 年生から発行してきた「つばみ新聞」を創刊号から冊子にしてプレゼント。 2 組：シャープペンシルをプレゼントした。 |
| 令和 3 年度 | ③ | 卒業記念品として、集合写真をおさめた DVD をプレゼントした。 担任の先生に向けた、子どもたちからのメッセージカード作りを実施した。 |
| 令和 4 年度 | ③ | 卒業記念品として、ボールペンを選定した。たいさんぼくの校章を入れ、十三小での思い出を胸に巣立って欲しいという思いを込めてプレゼントした。 |

【学級図書の選定について】

4 月に第 1 回運営委員会を行っていた時期は、その年の学級委員が 5 月に仲町テラス（図書館）で学級図書の選定を行っていました。令和 2 年度以降、第 1 回運営委員会が 5 月開催となり、選定時期を検討していたと思われませんが、その年以降はコロナ禍のため、作業が行われていない状況です。現在は学級図書については、保護者による選定は行われておりません。今後、再開するかについては今年度内に検討していきます。

以上

委員各位

十三小保教の会

保教の会 配布資料のペーパーレス化に向けて

十三小保教の会では、昨年度より配布資料のペーパーレス化を始めています。令和 4 年度第 3 回運営委員会報告書から、紙面配布と合わせてスクールメールを利用した配信を行っており、現時点で、「立ち番マニュアル」、「運営委員会報告書 (pass あり)」について学校ホームページに掲載しています。

ペーパーレス化によって、印刷に係るコスト削減(コピー用紙、印刷機関連)、印刷・配布に係る時間と作業の削減(複数人が集まって作業、ホチキス留め等)が見込めます。まずは、現在配布している資料をまとめます。

運営連絡委員発行の配布資料

(全員に配布するもの)

- | | | |
|-------------|------------------|--------------|
| ○保教の会 入会申込書 | ○十三小保教の会 規約 | ○役員履歴カード |
| ○立ち番マニュアル | ○委員選出についてのお知らせ | ○総会資料／決議結果報告 |
| ○会費集金のお知らせ | ○運営委員会報告書(年 4 回) | ○新入生／転入生資料 |

(学級委員・選管向け)

- | | |
|-------------------------|----------------------------|
| ○運営委員会開催のお知らせ・次第(年 4 回) | ○委員名簿用記入用紙(連絡先確認) |
| ○学級委員のしおり | ○立ち番・みまもり隊の仕事内容(立ち番係のみに配布) |

グループ活動・選管発行の配布資料

- 運営連絡委員立候補募集のお知らせ／次年度 運営連絡委員決定のお知らせ
- 立ち番・みまもり隊の募集用紙(年 3 回)／立ち番・みまもり隊の当番表(年 3 回)
- パトロール中プレート装着の募集用紙／パトロール中プレートの使用について(装着希望者)
- 学区内危険箇所マップ
- 運動会当日の保護者の自転車使用について

上記の資料を児童数または家庭数で配布しています。会費集金のお知らせなど、学校ホームページの掲載だけでは会員全員に連絡が行き渡らないものがあり、今後も配布が必要な書類は一定数あると考えます。

今年度は、運営連絡委員からの報告書だけでなく、グループ活動の資料のうち、学校ホームページへ掲載できるものがあるか、活動を通して検討していければと考えています。

また、アンケートを実施する際、専用アプリや Google フォームを利用している学校も増えていますが、『導入したシステムを継続して活用できるか』といったことを考えて導入を決める必要があります。他校の取り組みやシステムについて、情報を集め始めています。今後、運営委員会で共有していきたいと考えています。

以上